

大分教育事務所訪問 23

津久見市立第二中学校から学ぶ

5月22日の体育祭におじゃまして以来の訪問でした。一ヶ月でも大きく成長していた生徒達！明るく元気なあいさつや笑顔がとても印象的でした。

学校経営から学ぶ

「誰もが行きたくなる学校」をめざし、学校の教育目標「よく考え、自分で判断し、適切に行動する、自律した生徒集団」を育成するために、めざす生徒像を「向上心をもって、自主性に学びに向かう生徒（知識・技能）」「多様性を受け入れ、自他共に尊重して協働できる生徒（思考力・判断力・表現力）」「自らを律し、あらゆる場面で適切に対応できる生徒（学びに向かう力、人間性等）」と定める等、最上位の目標を生徒の具体的な姿と資質・能力で示しています。

4点セットの取組指標も、頻度や内容が明確に示されているので、今後は、取組指標の中に短期で検証ができそうなものは期間を決めて（2週間～1ヶ月）集中して行うことで、教職員も子どももより成長を感じたり課題を明確したりすることができるでしょう。そのことで、取組指標の内容の質が次第に高いものとなり、生徒達自身がより成長（資質・能力の育成）を感じることでしょう。

さらに、そのような実践をとおして、育成を目指す資質・能力「自主性・課題解決力・自律的行動力」（教科横断的な資質・能力）がより明確になり、教職員だけでなく、地域や保護者もその目標を意識することで協働的な取組が進むことになると思われます。

授業から学ぶ

美術の授業では生徒の意欲を引き出すために、多くのやり方を準備してました。また、単元計画が明確なので生徒も見通しをもって取り組んでいることでしよう。音楽ではウクレレという新たな事に挑戦してました。まさに、学校の教育目標の具現化ですね。保健体育は当日指導案を差し替えたように、本校の研究の中心である「振り返り」を大切にしていることが伺えました。

今後は、「振り返り」で、生徒達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿とすることで、「めあて」との運動や、評価規準がより明確になります。そのような、具体的な実践を日常的に行うことで校内研究も推進すると思いました。



NO.121 2021年6月 津久見市立第二中学校

集中力

作品に自分らしさを出したい。だから、先生の説明をしっかりと聴くんだ。



NO.122 2021年6月 津久見市立第二中学校

自律した集団

盛り上がる時、頑張るとき、空気をよみ、メリハリをつけることができる。



NO.120 2021年6月 津久見市立第二中学校

向上心

最初からできる人はいない。何度もチャレンジすることで、次第にできるようになる。